

第9回揖斐川町消防教練会

10月25日(日)、揖斐川町市場グラウンドで、第9回揖斐川町消防教練会が開催されました。

日ごろの訓練の成果を各個訓練と小隊訓練で競いました。結果は次のとおりです。

各個訓練の部

優勝	揖斐分団	第2班
準優勝	大和分団	第4班
3位	大和分団	第3班
4位	小島分団	第3班
5位	大和分団	第5班
6位	小島分団	第1班

小隊訓練の部

優勝	揖斐分団
準優勝	小島分団
3位	大和分団

総合

優勝	揖斐分団
準優勝	小島分団
3位	大和分団

団長賞
最優秀指揮者賞

揖斐分団

優秀指揮者賞

揖斐分団第2班

大和分団第4班

揖斐分団第3班

林 泰孝

林 泰孝

高橋 伸弥

高橋 伸弥

横幕 真樹

横幕 真樹

宗宮 和史

宗宮 和史



揖斐川町消防団揖斐分団の皆さん



小隊訓練のようす

川と海のクリーン大作戦

10月24日(土)、揖斐川河川敷を中心に、町内全域で「川と海のクリーン大作戦」が行われました。地域住民や町内の小中学生、揖斐建設業協会、各種団体などから合わせて800人の参加がありました。

国土交通省の提唱するこの活動は、ゴミを拾って河川をきれいに保つことのほかに、取り組みを通じてごみを捨てない心を育む目的があり、毎年、各自自治体や賛同する企業・団体などが参加して行われています。

この日集まった、ペットボトルや空き缶、粗大ごみなどは2トントラック2台分ありました。

今後も皆さんで美しい水辺環境を守っていきましょう。



集めたゴミを分別するようす

OKB森林共和国 秋祭り2015

「OKB森林共和国」は大垣共立銀行・岐阜県・揖斐川町の3機関で締結された、恵みの森林づくり協定を受けて揖斐高原スキー場跡地で行われる森林整備活動です。

6月の建国式以来2回目となる活動が10月24日(土)に行われました。

この日は、約250人が参加し、前回植えた苗木が大きく育つように、周辺の雑草を刈り取り、シカの食害を防ぐ薬剤を木に塗る活動を行いました。

また、会場では、木工教室やハンドベル演奏などもあり、豊かな自然の中で秋を満喫しました。今後も引き続き活動やイベントが行われる予定です。



苗木周辺の草刈のようす

コスモス畑でイベント

10月12日(月)、満開を迎えた上ミ野のコスモス畑で「コスモス開花イベント」が行われました。

上ミ野地区の休耕田を利用したコスモス畑では、毎年開花にあわせて地域の人たちによる手作りのイベントが行われており、家族連れなどで賑わいを見せています。

この日も、上ミ野地区のコスモス畑には、約350人の見物客が訪れ、畑の中に作られた歩道を散策しながら元氣よく咲いたコスモスを楽しんでいました。

また、会場ではアユ雑炊やほかほかの焼き芋が振る舞われたほか、スタンプラリーや子ども向けのゲームなどがあり、会場は和やかな笑い声と笑顔であふれていました。



多くの人で賑わイベント会場

いびの秋まつり

10月17日(土)、揖斐川町本町通り一帯で「いびの秋まつり」が開催されました。

いび祭り実行委員会が主催のこのイベントは、軽トラックの荷台で野菜などの販売を行う軽トラ市と町内外のアーティストによる歌や踊りが見所です。

今年は揖斐川町のおばばに加えて、揖斐川町と共におばば発祥の地と呼ばれている笠松町のおばばにも来ていただきました。

また、揖斐おわらの会によるおわら踊りや路上ライブ、バザーなどもあり、来場者を楽しませていました。



笠松と揖斐の神輿の共演

こいやーかすがまつり

快晴となった10月18日(日)、かすがモリモリ村で「こいやーかすがまつり」が開催されました。

今年で7回目を迎えるこのイベントは、地元の関係団体でつくる実行委員会が開催しています。

会場では、幼児・小学生・サークルの発表や、地元の新鮮野菜や総菜、民芸品などの販売が行われ、賑わいを見せていました。

揖斐川町の女性たちによるよさこいソーランでは、その笑顔で元気に踊る姿に開場も盛り上がりました。そのほかにも、地元、春日の太鼓踊りなどがあり、来場者は楽しい1日を過ごしました。



よさこいソーランを見つめる子どもたち

恋のつり橋フェスタ

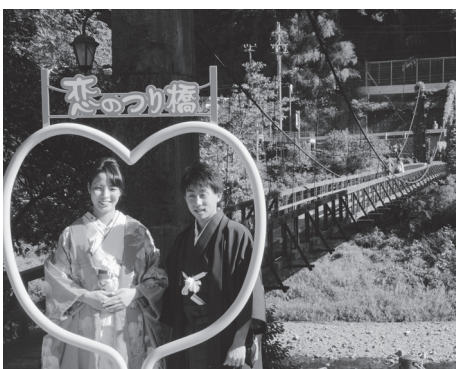
10月18日(日)、西津波(久瀬地域)で「恋のつり橋フェスタ」が行われました。

揖斐川にかかるこの橋は、長さ約80メートルの木製のつり橋で、周辺には、鐘や結ばれ地蔵などがあり、恋愛成就のパワースポットとして人気を博しています。

恋のつり橋フェスタ実行委員会主催のこのイベントでは、実際に結婚式を行います。

この日結婚式を行ったのは里見信弥さんと千里さんのご夫婦で、3年前、このつり橋を一緒に渡った日に交際を始めたそうです。

住民の皆さんから祝福を受けた里見さんご夫婦は、「付き合った場所での挙式はご縁かなと思う。とても素敵な経験です」と喜んでいました。



恋のつり橋と里見さんご夫婦

緑の少年団全国大会

10月10日(土)、池田町中央公民館で緑の少年団の全国大会が開催されました。

全国から選ばれた5つの緑の少年団は、それぞれの小学校で行ってきた自然を守る運動を発表しました。

揖斐川町からは、北方小学校6年生の廣瀬光凱^{ひろせみつが}さんと細野乃詠^{ほそののえ}さんが発表を行い、その堂々とした発表に会場に訪れた各地の緑の少年団の子どもたちからも盛大に拍手が送られました。

この日発表を行った北方小学校緑の少年団は、翌日に行われた第39回全国育樹祭の式典で発表を行う代表に選ばれ、式典会場に訪れた5000人を超える観客の前にも素晴らしい発表をみせました。



表彰を受ける北方小学校みどりの少年団

セントジョージマラソン派遣団 体験報告が届きました

9月30日(水)〜10月7日(水)の8日間、セントジョージマラソン派遣団として、セントジョージマラソンに参加したランナーの皆さんから報告が届きましたので紹介します。

※紙面の都合上、2回に分けて掲載します。

いびがわマラソン2014 総合男子優秀選手 宮崎 健司さん

スタート地点は少々肌寒いかな!?と感じるくらいの気温で6時45分にスタートし、先頭集団で走っていたものの3マイル程で肉離れを起し、途中棄権という形で終わってしまいました。実業団選手として走っていた頃に叶える事が出来なかった海外レースに参加できるということで、他の何よりも楽しみにして準備して来たつもりでした。優勝を目指していただけにとても残念です。

しかし、リタイヤ直後に後続の選手が「大丈夫かい?」と声をかけてくれたり、ゴール地点ではホームステイ先のスミスさん夫妻が温かく迎えてくれました。

そして、派遣団の方々も励ましてくださって、元気をいただきました。

せっかくの機会でしたので、本当に申し訳なく思っています。

マラソンは確かに残念でしたが、それ以上に今回の遠征では出会った人々に恵まれていて、得るものが大きかったです。アメリカの人々は家族、友達、仲間を大切にされていて尊敬する部分がたくさんありました。そして、派遣団の方々には最初から最後までお世話になり、メンバーと遠征出来てとても楽しい1週間でした。今後は、再度揖斐川マラソンに挑戦し、優勝してアメリカでのリベンジを果たそうと考えています。



セントジョージマラソン派遣団の皆さん

いびがわマラソン2014 総合女子優秀選手 富田 光江さん

赤い山々が続く壮大な景色の中の

一本道。ホストマザーと一緒にスタートし、数マイル一緒に走る事ができてとても嬉しかったです。

前半はアップダウンの繰り返しでした。7マイル地点で揖斐川応援団の方々の応援を頂いた後、1マイル弱の上りを上ったと思うと、8マイルから11マイルまでさらに上りが続きます。その後は下りのコースとなり、広大なスノーキャニオンを見ることができました。途中、足に違和感と痛みを感じスピードが落ちてしまいました。ランナーの方や、沿道の方、スタッフの方々に『Good Job』や日本語で『がんばって』など沢山の声援を頂き、ゴールしたい!という気持ちがより一層深まりました。市街地に入るとさらに声援が増え、応援を力になんとか完走する事ができました。FINISH LINEでは揖斐川応援団の方、ホストファミリーの方が迎えてくださりとても嬉しかったです。ゴール後しばらくすると、ホストマザーがマスターズ2位と聞き、すばらしい1日となりました。

滞在期間中は、揖斐川町の皆さんとセントジョージ市の皆さんの国際交流の深さに感動しました。本当にすばらしい交流で、今回派遣団の一員になれた事に感謝しています。